

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	056	地域コミュニティの活性化支援				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	市民協働推進部 地域コミュニティ課
	基本施策	09	市民との協働体制の構築			
めざす姿	文化センターを中心とした市民主体のコミュニティ活動が行われ、地域住民のふれあいが深まり、こころ豊かな明るい地域社会が形成されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	416,852,000	480,077,000	490,403,000	456,258,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	10,400,000	11,985,000	3,500,000		
市債	0	0	0	0		
その他	19,930,000	82,757,000	125,942,000	124,514,000		
一般財源	396,922,000	386,920,000	352,476,000	328,244,000		
予算現額	422,482,000	496,827,000	464,677,000	0		
決算額	398,385,735	472,091,123	441,321,435	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	8,898,000	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	25,142,157	28,450,993	33,369,299	0		
一般財源	373,243,578	434,742,130	407,952,136	0		
執行率	94.3	95.0	95.0	0.0		
(人件費)						
職員数	47.25	46.25	43.25	0.00		
職員人件費	362,956,734	363,711,249	347,382,054	0		
嘱託員数	0.80	1.75	0.75	0.00		
嘱託員人件費	2,496,320	5,470,301	2,318,192	0		
(間接経費)						
間接経費	0	0	0	0		
総コスト	763,838,789	841,272,672	791,021,681	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 3年度 目標値	
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
文化センター利用者数	1,038,698	実績	941,930	984,320	-	-	977,000
	人	達成率	96.4	100.7	0.0	0.0	
各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数	238,754	実績	228,588	182,514	-	-	230,000
	人	達成率	99.4	79.4	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

基準値からは下回っているが、平成30年度から令和3年度にかけて休館を伴う工事を各館順次実施し開館日数が減っていることや、平成30年度をもって浴場を廃止したマイナス要因があったにもかかわらず、センター利用者数が増加していることは、地域の身近な施設として日常生活において一定の役割を担っているものと捉えられる。

各行事が好条件で実施された平成28年度の事業参加者数を基準値に設定されているため上回ることは難しい。特に、多くの人出が見込まれる各館の「地域まつり」が悪天候に見舞われたことや新型コロナ禍で事業を中止したことが大幅な減少の要因と捉えている。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている		
達成できている点	2つの指標とも昨年度より減少しているが、臨時的な要因によるものなので、平時には、目標達成が可能と捉えている。	事業主体となるコミュニティ協議会委員の高齢化、固定化の傾向が憂慮されるが、近年は消防署や地域包括支援センター、防犯協会、社会福祉協議会など幅広い組織に協力を得て、コミュニティ事業の発展につながっている。		
達成できていない点	文化センター利用者数については、1週間程度の休館を伴う電気設備工事が3館あったこともあり減少した。コミュニティ事業参加者数については、来場者が多いセンターまつりが荒天により1館中止となった影響で減少した。	コミュニティ事業参加者の減少の原因はセンターまつりが悪天候であったことに加え、新型コロナウイルス感染拡大のため事業を中止したことによる。		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

各文化センターでは、地域住民の交流とふれあいの場を広め、コミュニティ活動を活発にするため、自治会、PTA、シニアクラブ、自主グループ等で構成されるコミュニティ協議会が主体となり、地域まつり（夏まつり）や地域文化祭、運動目的のレクリエーション大会、地域住民対象の防災訓練、節分の集いといった伝承行事など、地域の特色を活かした各種行事を実施している。事業の実施にあたっては、盆踊りやお囃子、模擬店、カラオケ大会など地域の人々が参加しやすい場を市民との協働で提供するなど、地域コミュニティの醸成を図ってきた。

各文化センターを拠点に活動する人々が、成果を発表する場として毎年開催しているちびっ子ふれあい文化祭及びコミュニティ文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大のため令和元年度は急遽中止となった。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

行事の参加者数については天候や日程等に左右されやすいが、今後は特に新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先に「新しい生活様式」を考慮した従来とは違う事業展開の方策を講じ、将来に継続して取り組む必要がある。

また、近年、事業パートナーであるコミュニティ協議会委員の高齢化、固定化の傾向が憂慮されるが、消防署や地域包括支援センター、社会福祉協議会など幅広い組織の協力を確保してコミュニティ事業のさらなる発展につなげたい。

今後の展開

文化センターが地域住民がふれあい、つながる拠点となって、より多くの方々に参加していただける伝統行事の継続など地域の特性を活かした事業をコミュニティ協議会と共に展開していきたい。

あわせて、将来的に事業を継続して実施するためのパートナーの確保や育成を優先課題として検討していきたい。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
コミュニティ圏域内地域交流促進事業	地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、住民同士のふれあいの機会を提供します。地域まつり、地域文化祭、高齢者対象行事、子供対象行事など。	地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、住民同士のふれあいの機会を提供します。地域まつり、地域文化祭、高齢者対象行事、子供対象行事など。	地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、住民同士のふれあいの機会を提供します。地域まつり、地域文化祭、高齢者対象行事、子供対象行事など。	地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、住民同士のふれあいの機会を提供します。地域まつり、地域文化祭、高齢者対象行事、子供対象行事など。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 地域コミュニティ課	悪天候により中止となった行事があったが、全体としては順調に実施することができ、地域住民のふれあい、交流の促進を図ることができた。	悪天候や新型コロナ感染拡大で中止となった事業があり参加者が減少したが、全体としては順調に実施でき、地域住民の交流の促進を図ることができた。		
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	72,564			
コミュニティ事業運営事業	各文化センターにおいて、子ども・高齢者向けの教室等を実施する。創作教室（手芸・工作・クッキングなど）民謡教室・民謡の集い	各文化センターにおいて、子ども・高齢者向けの教室等を実施する。創作教室（手芸・工作・クッキングなど）民謡教室・民謡の集い	各文化センターにおいて、子ども・高齢者向けの教室等を実施する。創作教室（手芸・工作・クッキングなど）民謡教室・民謡の集い	各文化センターにおいて、子ども・高齢者向けの教室等を実施する。創作教室（手芸・工作・クッキングなど）民謡教室・民謡の集い
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 地域コミュニティ課	魅力ある新たな教室を行うことにより、参加者は増加した。	世間のニーズを考慮した魅力ある教室を企画し、参加者が増加した。		
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	10,492			
地域コミュニティ活動活性化支援事業	自治会加入の促進を支援するため、府中市自治会連合会に対し、補助金を交付する。公会堂の整備事業を実施するものに対し、補助金を交付する。	自治会加入の促進を支援するため府中市自治会連合会に対し、補助金の交付を行う。公会堂の整備事業を実施するものに対し、補助金を交付する。	自治会加入の促進を支援するため府中市自治会連合会に対し、補助金の交付を行う。公会堂の整備事業を実施するものに対し、補助金を交付する。	自治会加入の促進を支援するため府中市自治会連合会に対し、補助金の交付を行う。公会堂の整備事業を実施するものに対し、補助金を交付する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 地域コミュニティ課	府中市自治会連合会の事業や公会堂の改修等に対し補助することで、地域でのコミュニティ活動を支援・促進することができた。	府中市自治会連合会の事業や各自治会の公会堂の補修等に対し補助金を交付することで、地域でのコミュニティ活動を支援・促進することができた。		
事業種別	-----			
主要な事務事業	-----			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	76,360			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 自治振興助成事業	30		17,230,000	16,873,350	17,153,000	自治会等に、回覧物の各世帯への配布などを委託する。	B	1
2 コミュニティ文化祭運営事業	30		1,235,000	204,894	1,235,000	文化センターで活動する自主グループが日頃の成果を市民に展示・発表する。	B	3
3 コミュニティ圏域内地域交流促進事業	30		18,041,000	17,791,432	18,041,000	地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、住民同士のふれあいの	B	1
4 コミュニティ事業運営事業	30		2,549,000	2,497,717	17,379,000	各文化センターにおいて、子ども・高齢者向けの教室等を実施する。	B	1
5 地域コミュニティ活動活性化支援事業	30		27,450,000	22,445,101	27,569,000	府中市自治会連合会に対し、補助金の交付を行う。公会堂の整備事業を実施するものに対し補助金を	B	2
6 文化センター管理運営事業	30		423,898,000	381,508,941	374,881,000	文化センター 1 1 館の施設の維持管理	B	1
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			490,403,000	441,321,435	456,258,000			

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	057	市民活動の促進と市民協働の推進				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	市民協働推進部 協働推進課
	基本施策	09	市民との協働体制の構築			
めざす姿	市民活動がさらに活性化し、市民協働がより一層推進されることで、市民主体のまちづくりが進み、地域社会が発展している。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	6,228,622,000	310,444,000	306,506,000	302,655,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	100,000		
市債	3,505,000,000	0	0	0		
その他	2,396,038,000	4,036,000	2,436,000	23,021,000		
一般財源	327,584,000	306,408,000	304,070,000	279,534,000		
予算現額	6,213,320,000	310,444,000	289,573,000	0		
決算額	6,208,043,844	310,176,299	288,921,635	0		
国庫支出金	774,800,000	0	0	0		
都支出金	0	0	218,000	0		
市債	2,924,000,000	0	0	0		
その他	2,203,896,633	6,837,100	34,051,500	0		
一般財源	305,347,211	303,339,199	254,652,135	0		
執行率	99.9	99.9	99.8	0.0		
(人件費)						
職員数	5.10	4.85	4.85	0.00		
職員人件費	39,176,282	38,140,531	38,954,982	0		
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	10,920,409	11,532,603	12,037,470	0		
総コスト	6,258,140,535	359,849,433	339,914,087	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
市民活動センター登録団体数	138	実績	431	486	-	-	250
	団体	達成率	172.4	194.4	0.0	0.0	
コミュニティビジネスに関する ガイドランス等に参加し事業の立 ち上げにまで至った件数	1	実績	2	4	-	-	3
	件	達成率	66.7	133.3	0.0	0.0	
協働の認知度	42.5	実績	48.3	56.2	-	-	50
	%	達成率	96.6	112.4	0.0	0.0	
市と各活動団体が協働で実施し ている事業数	144	実績	150	152	-	-	159
	件	達成率	94.3	95.6	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

市と各活動団体の協働で実施している事業数は、概ね順調に推移している。

4 施策の進ちよく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている	目標達成に向け順調に進ちよくしている		
達成できている点	市民や市民活動団体に対する情報提供や支援の充実を図った。登録団体同士や、団体と市民との交流の機会を設け、ネットワーク促進を図った。また、市民協働の更なる推進に向けて市民への啓発を行うとともに、職員研修の充実を図った。	市民や市民活動団体に対する情報提供や支援の充実を図った。登録団体同士や、団体と市民との交流の機会を設け、ネットワーク促進を図った。また、市民協働の更なる推進に向けて市民への啓発を行うとともに、職員研修の充実を図った。		
達成できていない点	登録団体数の増加に伴うマッチングニーズの増加に対応するため、ネットワーク構築や、各組織をマッチングさせる仕組み作り等、市内の知的・人的・物的資源を有機的につなげる必要がある。	市民活動ポータルサイトの周知を進め、利用者数を増やし市内の協働を促進する必要がある。CB推進のため起業支援コーナーの機能を高める必要がある。		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

平成14年度に府中NPO・ボランティア活動センターを設置し、情報提供や啓発事業等を通じて市民の地域貢献活動に対する理解と参加のきっかけづくりを行ってきた。また、平成21年度から府中NPO・ボランティア活動センターの運営を市内NPO法人に委託し、より市民目線に立った地域貢献活動の促進を図った。平成29年度に市民活動センターを開館し、府中NPO・ボランティア活動センターの機能を移転した。市民活動センターでは、従来の取組に加え、指定管理者の中間支援ノウハウの活用により、市民活動や協働のさらなる推進を図っている。市民協働の推進については、「市民協働の推進に関する基本方針」を策定し、市制施行60周年記念式典において「市民協働都市」を宣言した。また、「市民協働推進行動計画」の策定、市民提案型協働事業提案制度、行政提案型協働事業提案制度を行い、「協働事業等評価制度」の構築や、市民活動や協働の現場に職員を派遣する体験型の研修をはじめ、市民協働啓発動画の制作やSNSの導入などの取組を行った。平成31年度は、研修では他の自治体職員の講話を実施し、情報共有を目的としたまちづくりカフェの開催、協働通信やSNS等での情報発信を行うとともに、大学・企業連携などの取組を行ったほか、市民提案型協働事業として市民から提案があった5事業に補助金を交付した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

近年、市民活動団体数及び地域貢献活動等に参加する市民の数は増加傾向にあり、様々な分野で協働が進んでいる。しかし、協働の担い手となり得る組織力のある市民活動団体の不足など、いまだ多くの課題も残されている。また、協働・連携体制の構築された大学等の数については、近年横ばいとなっており、単年度事業、担当教授や研究室単位での連携が多い傾向にある。

今後の展開

今後は、引き続き各種講座やPR等により市民の市民活動や協働への理解度を高めるとともに、市民ニーズの把握に努めたいと、効果的な事業展開を目指す。また、市民と市との協働はもちろん、様々な主体間の協働も視野に入れた市民協働を推進するため、各種制度の周知や事業等を通じ、引き続き市民や職員の意識啓発を行っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
市民協働推進事業	市民協働推進行動計画に基づき、市民協働を推進するための意識啓発事業等を実施する。	市民協働推進行動計画に基づき、市民協働を推進するための意識啓発事業等を実施する。	市民協働推進行動計画に基づき、市民協働を推進するための意識啓発事業等を実施する。また、社会状況等の変化を踏まえ、計画の見直し等を行う。	市民協働推進行動計画に基づき、市民協働を推進するための意識啓発事業等を実施する。また、社会状況等の変化を踏まえ、計画の見直し等を行う。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 協働推進課				
事業種別				
主要な事務事業	市民協働普及啓発動画の制作や各種制度の周知を図るパンフレットの作成等の取組を行った結果、市政世論調査における協働の認知度が向上した。	情報共有を目的としたまちづくりカフェの開催やSNSでの情報発信の強化を行うとともに、大学・企業連携に取り組んだ結果、市政世論調査における協働の認知度が向上した。		
4か年事業費計(単位:千円)				
	20,000			
補助金 市民提案型協働事業費	地域課題の効果的かつ効率的な解決を図るため、市民の自由な発想を活かした協働事業に対し、補助金を交付する。	地域課題の効果的かつ効率的な解決を図るため、市民の自由な発想を活かした協働事業に対し、補助金を交付する。	地域課題の効果的かつ効率的な解決を図るため、市民の自由な発想を活かした協働事業に対し、補助金を交付する。	地域課題の効果的かつ効率的な解決を図るため、市民の自由な発想を活かした協働事業に対し、補助金を交付する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 協働推進課				
事業種別				
主要な事務事業	平成30年度は3事業の応募があり、3事業を実施した。引き続き提案件数が増加するよう努める。	令和元年度は5事業の応募があり、5事業を実施した。引き続き提案件数が増加するよう努める。		
4か年事業費計(単位:千円)				
	6,000			
市民活動センター管理運営事業	市民活動センター周知・利活用促進のためのPR活動を行う。個人の無関心層・関心層の掘り起こしやスタートアップ支援のためのイベント、講座、ロビーワーク等を実施する。市民活動団体の組織基盤の醸成のために必要な講座及び相談支援等を行う。コミュニティビジネスを支援する。	市民活動センター周知・利活用促進のためのPR活動を行う。個人の無関心層・関心層の掘り起こしやスタートアップ支援のためのイベント、講座、ロビーワーク等を実施する。市民活動団体の組織基盤の醸成のために必要な講座及び相談支援等を行う。コミュニティビジネスを支援する。	市民活動団体が安定した一定規模の活動を継続できるよう支援する。団体、企業、地縁団体など多様なネットワークのマッチングを行う。活動団体同士の連携を促進する。	市民活動団体が安定した一定規模の活動を継続できるよう支援する。地縁団体や企業等を巻き込んだ取組みを実施する。活動団体同士の相互支援を促進する。5年間の運営実績に対する評価を踏まえ、次期指定管理者を選定する。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 協働推進課				
事業種別				
主要な事務事業	来館者数や稼働率が上昇しPR成果が出た。各種講座やイベントにより無関心層等を掘り起こし、登録団体数が431と目標を上回った。組織基盤強化講座や相談を実施したが、この効果を測る必要がある。コミュニティビジネスの相談や講座を実施し1件開業したが、さらなる啓発が必要。	来館者数や稼働率が上昇しPR成果が出た。各種講座・イベント・相談参加者も増加傾向で、登録団体数は486と目標以上に更に増加。コミュニティビジネス起業者は累計4件と目標を超えた。団体の組織基盤強化のため助成金の制度変更や講座の仕組み変更を実施。		
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,246,960			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 市民協働推進事業	30		4,620,000	2,072,852	6,136,000	市民との協働の推進	A	
2 市民活動センター管理運営事業	30		300,799,000	285,984,387	295,971,000	市民活動・市民協働の推進、市民活動センターの管理運営	B	1
3 補助金 市民提案型協働事業費	30		1,087,000	864,396	548,000	市民の自由な発想を活かした協働事業に対する補助金の交付	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			306,506,000	288,921,635	302,655,000			